

授業科目

視覚機能学実習V

担当教員名 増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	90

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	◎

授業の概要

3年次までの実習の総括として、主な検査項目に関する実技試験を課す。知識、技術を兼ね備えた医療を遂行できる視能訓練士を目指す。

授業の目的

判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能を習得させ、検査・技術内容の到達度を明確にすることを目的とする。

学習目標

1. 入力系検査、統合系検査、出力系検査を実践できる。
2. シミュレーションを通じて視覚異常およびその見え方が理解できる。
3. データの正常値とその幅を理解し、再現性の確認と異常の判定ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-3	ガイダンス シミュレーションの方法と分析の具体例	実習	増田 修 他
4-6	視力障害のシミュレーションの提示	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
7-12	データの測定、分析、評価	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
13-15	各グループの発表	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
16-18	視野障害のシミュレーションの提示	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
19-24	データの測定、分析、評価	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
25-27	各グループの発表	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
28-30	斜視のシミュレーションの提示	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
31-36	データの測定、分析、評価	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
37-39	各グループの発表	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
40-42	まとめ 1	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他
43-45	まとめ 2	実習	増田 修、前田 史篤、河内 了輔、谷 佳子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 40%
グループ発表 30%
提出物 30%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば、原則として1回のみ実施する。
締め切りをすぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日 昼休み
P307
osamu-masuda@nuhw.ac.jp